

新市域連携事業について(自転車関係)

【背景、目的】

- ・新市域における県と市の共通課題等について情報共有を図り、県の支援を得ながら課題解決や地域資源を活かした新たな魅力創出に向けた取組を進めている。
- ・課題解決にあたり、新市域の複数地域と隣接自治体が連携することで、より大きな成果が見込まれるものについて、その取組を促進することにより、地域の活性化に資する。

【経過】

H26年6月 県東部地区関係機関と市総合支所等との意見交換会を開催

＜提案事項＞

- ①国府…自然を中心とした地域資源を活用したまちづくりについて
- ②福部…駈馳山バイパス開通後の福部地域のまちづくりについて
- ③用瀬…流しびなの里をめぐるエコツーリズムで地域活性化について
- ④佐治…地域の自然や地理地形的特性を活かした地域振興について
- ⑤気高…道の駅の整備について
- ⑥青谷…山陰海岸ジオパークのエリア拡大を契機とした地域振興について

当面の取組を整理

支所	取組項目	当面の取組	取組状況
福部	周遊観光の強化	・岩美町との意見交換会の開催	・意見交換会を2回開催(7月、9月)
用瀬	三角山等の売り出しに向けた推進体制の整備	・県、市関係機関による現地調査 ・資源化の可能性協議・検討 ・智頭町との連携検討	・現地調査を2回実施(6月) ・現地調査を踏まえた県との意見交換会を実施(8月) ・植生調査を3回実施(10月) ・智頭町副町長に趣旨説明(9月)
佐治	山王谷地域等の売り出しに向けた推進体制の整備	・県、市関係機関による現地調査 ・智頭町との連携検討	・現地調査を実施(7月) ・現地調査を踏まえた県との意見交換会を実施(8月) ・智頭町副町長に趣旨説明(9月)

意見交換会等を踏まえた今後の取組(案)

自転車を活用した周遊観光の促進(鳥取市東部エリアと岩美町)

鳥取市東部エリア(福部・国府地域)と岩美町との連携により、鳥取砂丘や浦富海岸、雨滝などのジオスポット等を巡る自転車を活用した周遊観光の取組を進め、地域内への誘客を図る。

【現状等】

- ・福部地域は、駈馳山バイパス開通に伴い国道9号線を通る車が減少し、砂丘以外の地域では来訪者の減少による活力低下が懸念されている。
- ・一方、福部地域から岩美町はジオスポットもあり景観も優れているため、車の減少に伴い市内から駈馳山峠を通して岩美町を往復する自転車愛好家が増加している。
- ・全国的にも健康やエコ指向の高まりに伴い、通勤やサイクリングなど自転車利用が広まっており、県においても「鳥取県バイシクルタウン構想」を策定し自転車の利用促進を図っている。
- ・また、県西部地区は、利用環境の整備や自転車イベントの開催が来訪者の増加につながっている。

【県東部地区の状況】

○サイクルショップフクハマ代表から聞き取り

- ・以前は、県サイクリング協会の事務局も東部にあり(今は西部)、早朝サイクリング等を実施していた。
- ・自転車の愛好家はかなりいるが、個人や小グループで楽しんでいる。まとまった組織はない。
- ・サイクルイベントの開催など自転車利用を促進する取組には、鳥取市自転車商業組合の協力を働きかけたい。

鳥取市東部エリアと岩美町の自転車を活用した周遊観光促進のイメージ(案)

【目的】

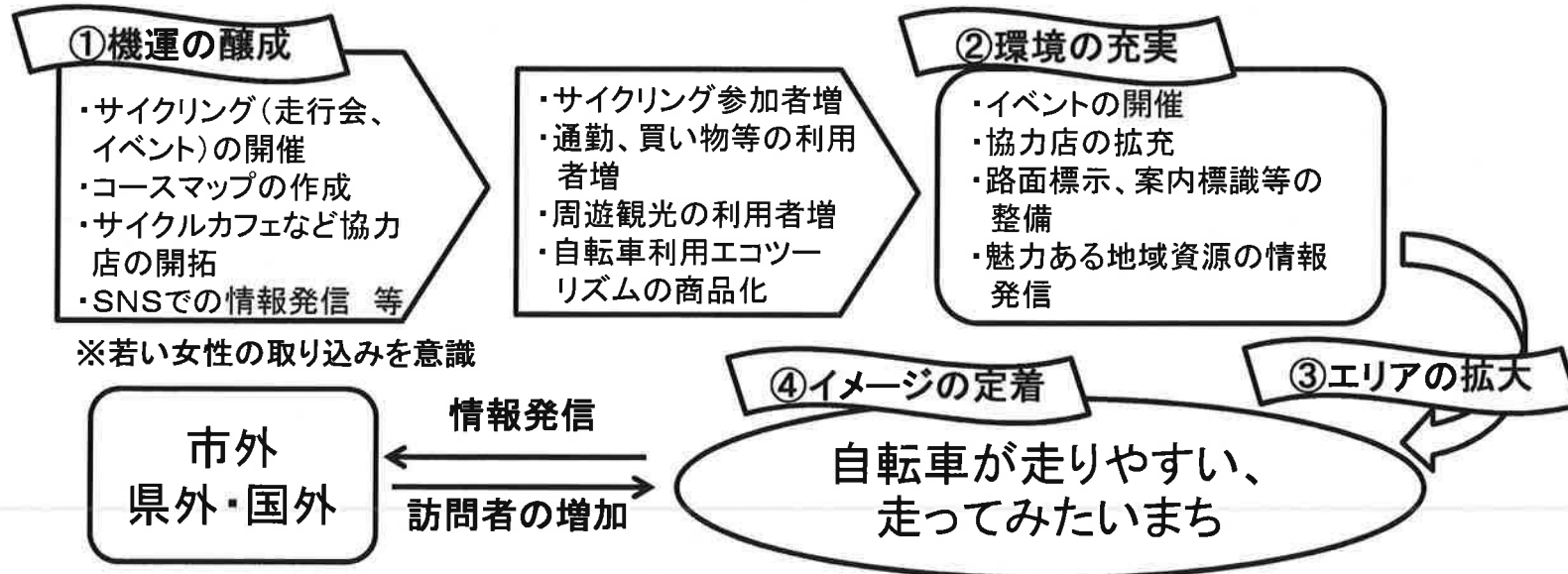
身近なレクリエーションとしてのサイクリングの普及を通じて、日常的に自転車を利用する機運を醸成するとともに、利用しやすい環境を充実させ利用者の増加を図る。

併せて、市東部エリア及び岩美町の周遊観光に自転車利用を促進し、滞在時間の延長を図り、将来的には、市街地及び他地域への拡大を目指す。

また、こうした取組を通じて、「自転車が走りやすい、走ってみたいまち」のイメージ定着させ、市外及び県外・国外からの来訪者の増加につなげる。

【現状、背景等】

- ・福部地域は、駈馳山バイパス開通に伴い国道9号線を通る車が減少し、砂丘以外の地域では来訪者の減少による活力低下が懸念されている。
- ・一方、福部地域から岩美町はジオスポットもあり景観も優れているため、車の減少に伴い市内から駈馳山峠を通して岩美町を往復する自転車愛好家が増加している。
- ・全国的にも健康やエコ指向の高まりに伴い、通勤やサイクリングなど自転車利用が広まっており、県においても「鳥取県バイシクルタウン構想」を策定し自転車の利用促進を図っている。
- ・また、県西部地区は、利用環境の整備や自転車イベントの開催が来訪者の増加につながっている。



自転車利用で想定される効果等(※自動車との比較)

- 小さな道まで入れ、地域の魅力や住民にふれる機会が増える。
- 市外及び県外来訪者の宿泊、買い物等につながる。
- 重大な交通事故が起こりにくい。
- 騒音が少なく、排気ガスがないので環境にやさしい。
- 観光シーズン等の渋滞緩和が図られる。
- 全国的に健康及びエコ指向が高まっており、鳥取のイメージアップにつながる。

平成27年度の実施内容(案)

【機運の醸成】

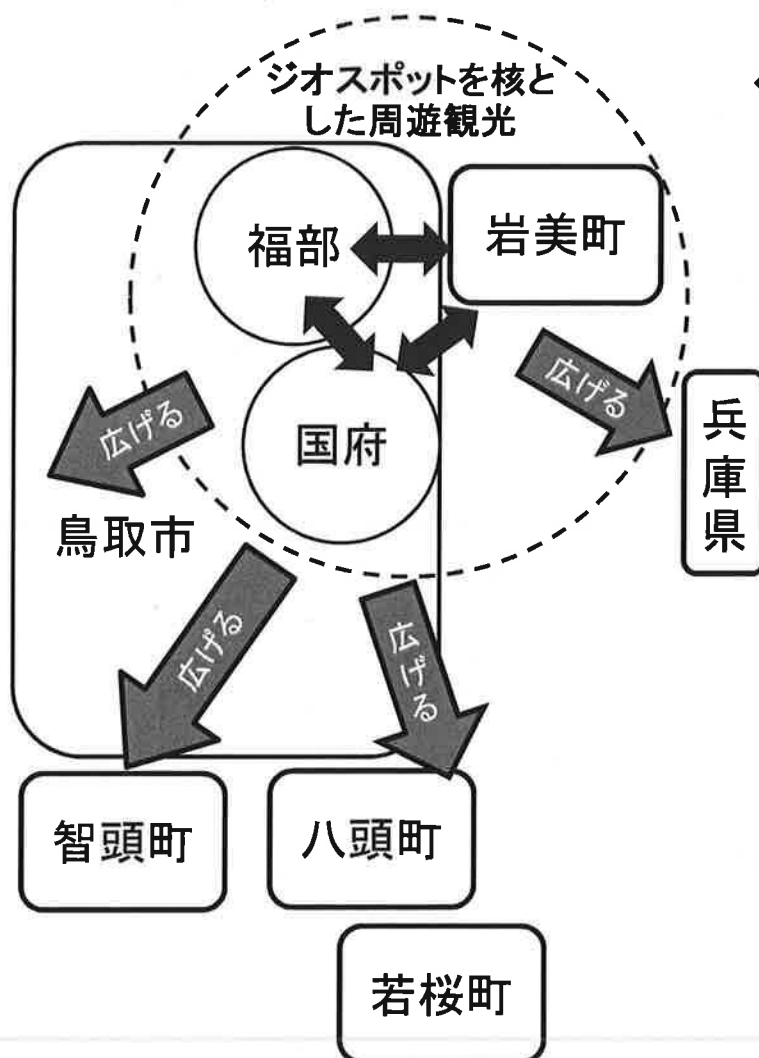
- 愛好家、自転車商業組合、観光関係者及び行政等による実行組織の立ち上げ
 - コースマップの作成
 - 協力店の開拓(協力店表示、駐輪スペース確保、トイレ利用等おもてなし)
 - サイクリングの企画・開催
 - ・定期走行会(7～10月、4回程度)
 - ・イベント走行会(1回)
- ※地域の見どころ散策、自転車移動による地域イベント参加も実施
- SNSによる情報発信 等

各関係者の想定されるメリット・目標等

関係者	メリット・目標等
行政	・交流人口増による地域活性化 ・環境負荷の低減、渋滞緩和 ・起業(雇用)の創出(エコツーリズム窓口の設置等) ・愛好家の組織化(取組の継続、新規イベントの開催等)
愛好家	・愛好家仲間の増(底辺拡大、交流機会の増) ・環境の充実(道路標示整備、イベント増など)
自転車商業組合	・自転車及び関連グッズの販売増
観光関係者	・宿泊、買い物、施設入館者等の増 ・自転車利用エコツーリズムの商品化
協力店(サイクルカフェ等)	・イメージアップ、来店者(販売)の増
地域(地域住民)	・交流人口増による地域活性化 ・地域イベントへの参加者増 ・自転車利用エコツーリズムの地域ガイドによる収入増

新市域連携事業における地域おこし協力隊の活用(案)

自転車を活用した周遊観光促進のイメージ(鳥取市東部エリアと岩美町)

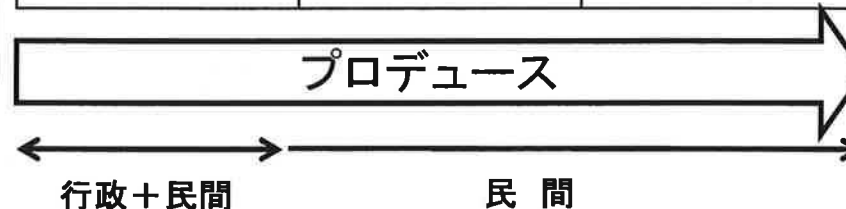


◆自転車エリアをつなげる ... 道

エリア: 東部広域エリア(鳥取市、岩美町、智頭町など)

【事業展開】

ステップ1 (H27)	ステップ2 (H28)	ステップ3 (H29)
・実行組織化 ・イベント実施	・仲間の増 ・イベント実施 ・集客の工夫	・商品化(収益) ・広域での展開



◎プロデューサー(地域おこし協力隊)

- ・イベントの生み出し、起業(自転車利用エコツーリズムの商品化)
- ・鳥取・因幡観光ネットワーク協議会と連携して活動予定(他の着地型観光にも取り組む)

自転車による周遊観光の事例

OVEオフィシャルサイトの散走



房総サイクリング

